

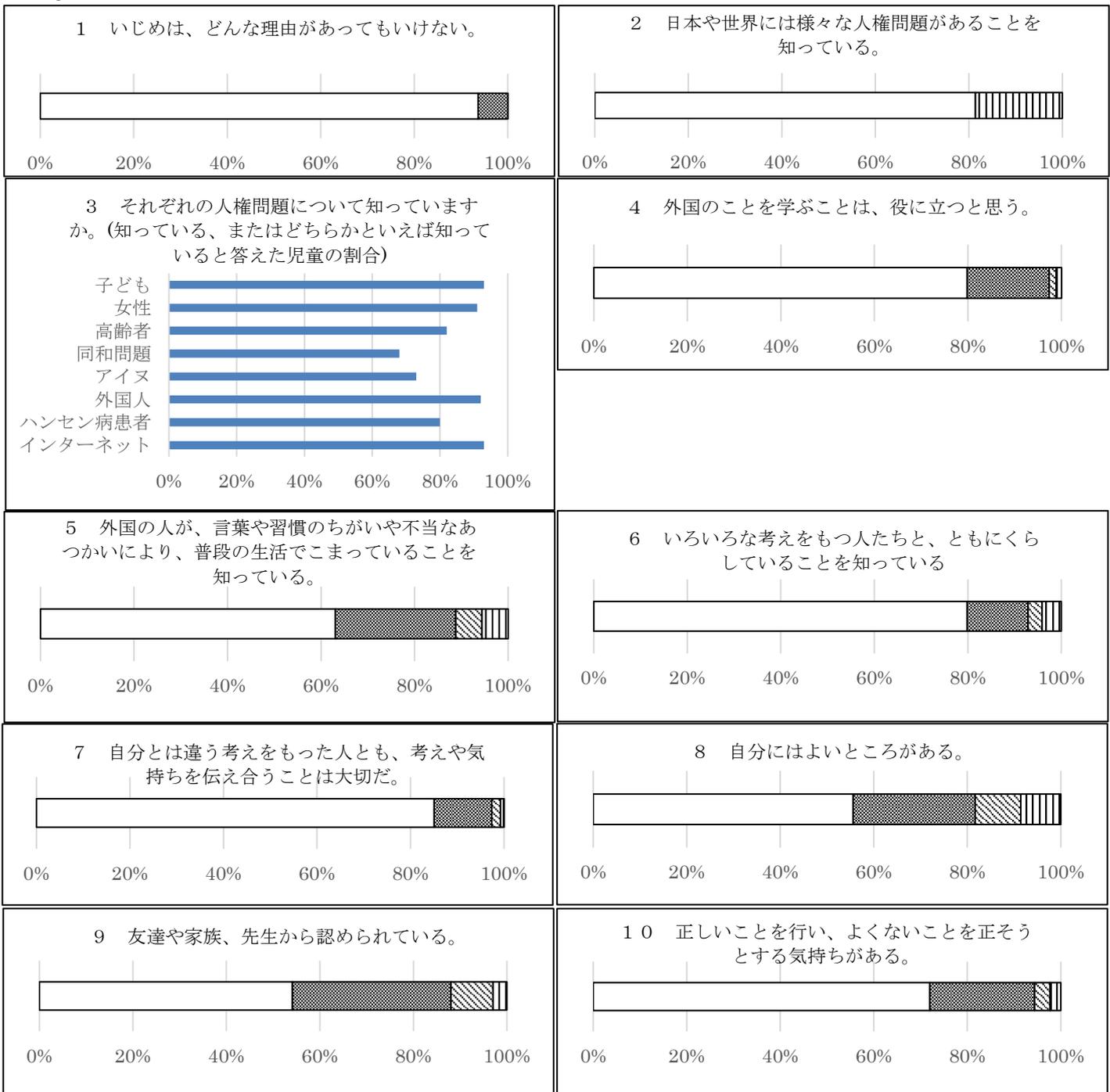


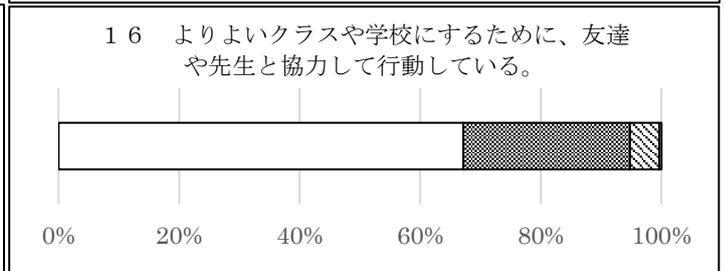
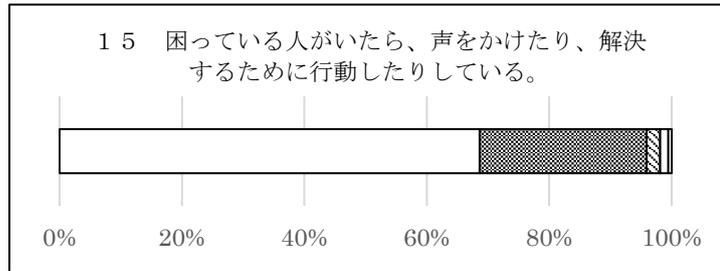
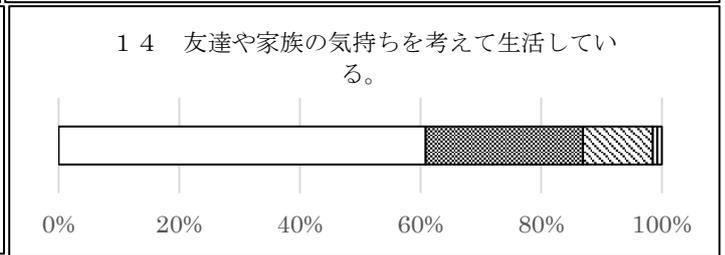
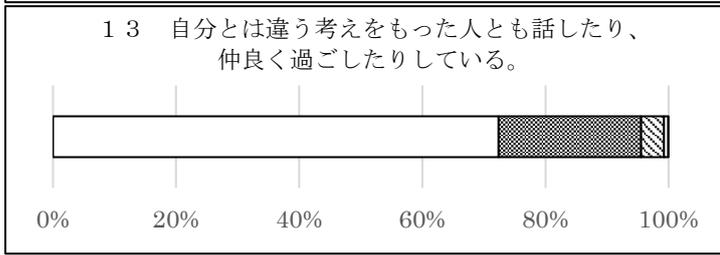
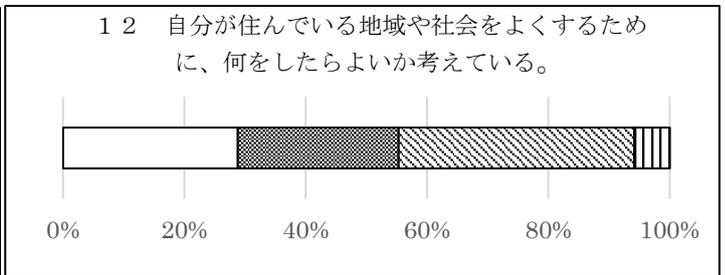
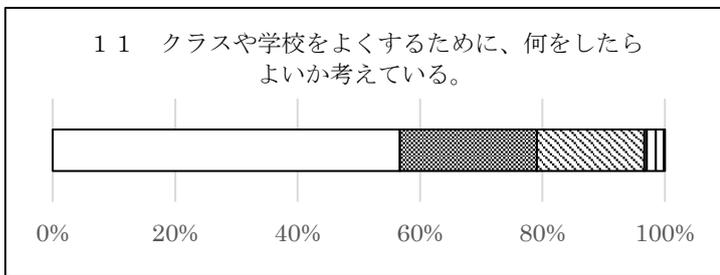
本校は、令和4年度と5年度、文部科学省から「人権教育に関する研究校」としての指定を受けています。今年度は、研究主題を「豊かな人間性や自尊感情を育成する人権教育～互いの違いやよさを認め合い、相手の気持ちを考えて行動できる児童の育成～」に設定し、児童、教職員、そして保護者の皆様とともに、人権に関する意識を高め、よりよい児童の育成、より過ごしやすい学校・家庭・地域づくりにつなげていくために様々な取組をしています。その一環として人権教育に関する本校の活動を伝えるための人権だよりを発行しています。

第4号では、10月に実施した今年度2回目の人権に関する児童のアンケート結果を中心にお伝えします。

人権アンケート結果

- そう思う
- ▨ どちらかといえばそう思う
- ▩ どちらかといえばそう思わない
- そう思わない





【アンケート結果の考察】

①第 1 回との変化があった項目

設問1「いじめは、どんな理由があってもいけない。」では、全児童がいじめはいけないものであると考えていることが分かりました。

設問3の様々な人権問題についての知識、理解は第 1 回よりも深まっていると考えられます。様々な人権問題に関する授業を通して、特に外国人、ハンセン病についての理解が深まっています。

設問6「いろいろな考えをもつ人たちと、ともにくらしていることを知っている。」の項目への肯定的な回答の割合が高まりました。人権教育により自分と他者の考え方の違いに気付く感性も磨かれていると考えられます。

設問9「友達や家族、先生から認められている。」では、第 1 回よりも認められていると感じている児童の割合が増えました。ご家庭でもたくさんほめていただきありがとうございます。

設問10「正しいことを行い、よくないことを正そうとする気持ちがある。」と設問11(1)「クラスや学校をよくするために何をしたらよいか考えている。」の2つの項目について、肯定的な回答の割合が高まりました。

設問11に関しては、具体的に「優しいクラスにするために人のことを考えて行動している」「人の気持ちを考えて言葉遣いなどに気を付けている」「みんなと分け隔てなく接して、コミュニケーションをとれるように元気に挨拶をしている」などの回答が見られ、一人一人がクラスのためにできることを考えられるようになってきています。

【保護者の皆様へのアンケートのお願い】

いつも人権だよりを読んでいただきありがとうございます。

よろしければ、人権だよりに関するアンケートのご協力をお願いします。別紙アンケートにご記入の上、お子様を通して11月15日(水)までに担任に提出をお願いします。

